

## 公害防止管理者等国家試験

## 正解とヒント 騒音・振動関係 2018～2022年度

## 正誤表

頁・行	誤 (旧)	正 (新)
R04-151・下 3	$z$ =減衰比 ( $=c/c_c$ )	$\zeta$ =減衰比 ( $=c/c_c$ )
R03-132・上 1	弾性支持による防振対策の留意事項に関する出題である。	弾性支持による地盤への伝達を考慮した防振対策の留意事項に関する出題である。
R03-132・(1)	(1) 共振時の変位振幅は系の減衰に関係し、減衰が大きいほど小さくなる。起動から定常回転数に達するまでの時間は変位振幅に関係しない。不適當。	(1) 減衰が大きいほど共振時の変位振幅は小さくなるが、振動伝達率の図(図 1)から分かるように、定常回転数の設定状況に応じて防振効果に対する減衰の大きさの効き方が異なっている。定常回転数が弾性支持系の固有振動数の $\sqrt{2}$ 倍より低い場合は減衰が大きいほど振動伝達率は小さくなるが、固有振動数の $\sqrt{2}$ 倍よりも高い場合には、減衰が大きいほど振動伝達率が大きくなり、防振効果は悪くなる。弾性支持による振動対策としては、支持される振動体の共振時の変位振幅を許容値以下になるように抑制することだけを考慮するのでは不十分である。よって、地盤振動の防振対策としては不適當。
R03-133		図追加*1

\*1

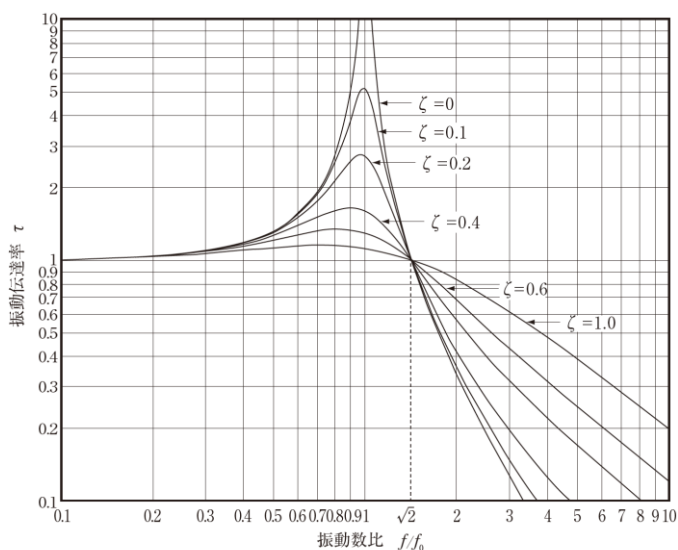


図1 振動伝達率